

あけぼの杉

藤田学園同窓会

住 所 豊明市沓掛町田楽ヶ窪
1 番地 98

発行人 藤田学園同窓会

発行日 令和元年12月25日



厨子と華鬘(獨創一理祈念館)

目次

P. 2	藤田学園同窓会会長ご挨拶	P. 10	新教授のご紹介
P. 3	学校法人藤田学園理事長ご挨拶	P. 11	学生の活躍
P. 4	藤田医科大学学長ご挨拶	P. 12	2019年度ホームカミングデーを開催して
P. 5	藤田医科大学看護専門学校長ご挨拶	P. 13～14	同窓会を開催して
P. 5	藤田医科大学医療科学部長ご挨拶	P. 14	2018年度国家試験結果
P. 6	医療科学部医療検査学科長ご挨拶	P. 15	学園祭報告
P. 6	医療科学部放射線学科長ご挨拶	P. 16～17	同窓会・各部会お知らせ
P. 6	藤田医科大学病院病院長ご挨拶	P. 18～21	同窓会総会報告
P. 7	藤田医科大学ばんだね病院病院長ご挨拶	P. 21～22	定款
P. 8	藤田医科大学七栗記念病院病院長ご挨拶	P. 23	奨学金貸与規程
P. 9～10	恩師からのお便り	P. 24	2020年度入学試験スケジュール





一般社団法人
藤田学園同窓会
会長

松山 裕宇
(医学部6回生)

母校の理念や歴史の継承 と50年後の新しい藤田学 園の構築をめざす

同窓生の皆様におかれましては、ますますご活躍のことと拝察いたします。

母校では、ご承知の通りスピード感ある教育・医療改革が進められ新しい藤田学園を感じ始めております。

この機関誌名でもある「あけぼの杉」は、1965年に初代同窓会会長 藤田啓介先生の手によって七栗に一本目が定植されました。当時、「18年もののあけぼの杉」と聞いておりますので、今年で樹齢72年ということになり、今なお七栗の谷間で大空に向かい凜とした大木に成長を続けております。しかしながら、大学病院駐車場など学内に植えられていたあけぼの杉の一部は2013年に伐採されています。今は、あけぼの杉のペンケースに姿を変え、皆様のお手元に置かれているのではないのでしょうか。

また、2019年4月15日より第一教育病院の旧病棟の解体が始まりました。藤田の歴史を語る建築物が姿を消しつつあります。同窓会の皆様が見慣れた病院南玄関の病院定礎の柱と四季の童の柱やプロミネンスプロムナード一帯のモニュメントは、今回の病院1、2号棟の解体とともに、9月1日に姿を消しました。

さらにプロミネンスプロムナードの頭上には、藤田学園25周年に当たる1989年10月10日に、藤田総長の御尊父様 藤田靖博士、ご母堂様 藤田よりエ様から、学園・病院が永遠に無事安泰であるようにと寄進された華鬘・宝冠大日如来が安置されておりました。プロミネンスプロムナード取り壊しに伴い2019年2月18日に魂抜きを行い、10月8日に獨創一理祈念館に移設し、再招来安置式を執り行いました。なお安置式は、高德院・湯川博英ご住職様に祈願文・読経をお願いしました。こうして、学園創設者であり初代同窓会会長でもある藤田啓介総長先生が、藤田学園の安泰を祈願しておられたことを改めて実感し、我々も藤田学園の発展に伴い失われるものに対してもきちんと供養していく必要があると強く感じました。これまでの学園創立50周年記念事業に伴い多くの記念モニュメントを失う事になりましたが、藤田学園は未来に向けて発展を続けます。今回の法要は、学園のひとつの区切りとしての行事が執り

行えたのではないかと考えております。

なお、高德院は真言宗開祖弘法大師の高野山(和歌山県)において9世紀に「高貴徳王菩薩」を本尊とした寺院として建立されたと聞いております。明治時代に入り行政による寺院の整理が進む中、桶狭間合戦の戦没者の供養とこの地での布教のため明治26年高野山より愛知県豊明村(現豊明市)に移転され現在に至っております。学園本部が豊明校地に移動したため、少し縁遠くなってしまいましたが、総長先生が命名された金剛生門と奉納された金剛生門鬼瓦一対など、とても縁を大切にしておられた寺院です。皆様も機会がありましたら、ぜひ一度足をお運び頂き、風を感じていただければ幸いです。

同窓会は、母校と連携を図り、母校の理念や歴史の継承と来るべき50年後の新しい藤田学園の構築に向けた事業を展開してまいります。引き続き皆様のご理解とご協力を心よりお願い申し上げます。



宝冠大日如来



学校法人藤田学園
理事長

星長 清隆

THEアジア大学サミットと THE世界大学ランキング

藤田学園同窓会の皆様、お元気で過ごしてでしょうか。私が昨年10月に藤田学園理事長を拝命して以来、丁度1年となりました。この間、藤田保健衛生大学から藤田医科大学への大学名の変更、大学開設50周年記念式典や医療科学部から2学部(保健衛生学部と医療科学部)への発展的分割などの出来事が有りました。しかし、これら以外に本学にとって画期的な事は世界大学ランキングを運営するTimes Higher Education社(以下THE)による「THE Asia Universities Summit 2020 (THEアジア大学サミット2020)」の本学開催決定ではなかったかと思えます。これを祝して、さっそく本学関連の同窓会の皆様からは、多額のご寄付を頂戴できることにな

りました。この場をお借りして心より御礼申し上げます。

このアジア大学サミットは、世界大学ランキングを発表する「THE World Academic Summit」に次ぐ重要なサミットで、アジアの大学を中心に約400名の学長、副学長、国際交流担当者や企業関係者が参加し、その年のアジア大学ランキングの発表が行われます。これまでに香港、韓国、中国、UAEで開催され、今回が初めての日本開催となり、本学がホスト校の大任を担うこととなりました。会期は2020年6月2日(火)から4日(木)の3日間で、本学の豊明キャンパスが主会場です。サミットのテーマは「Crossing boundaries, unlocking creativity(国境を越える、創造力の開放)」としていますが、本学の建学の精神である「独創一理」に偶然にも通じるものを感じます。参加の快諾が得られている方々は、表1のとおりですが、安倍首相やノーベル賞受賞者の方々にも出席して頂ける予定です。

次にTHE世界大学ランキングについてご説明します。これはTHE社が毎年秋に世界の大学の教育力、研究力、研究の影響、産業界からの収入、国際性などを点数化して総合的に評価しているもので、現時点では世界で最も権威のあるものと言われています。

2020年の「世界大学ランキング」は本年9月10日から3日間、スイス連邦工科大学チューリッヒ校で開催された「World Academic Summit 2020」で発表されました。昨年に続きオックスフォード大学が第1位で、藤田医科大学は、昨年と同じく世界で401-500位にランクインしました。これは世界に2万以上ある大学の上位2.5%に当たります。日本国内での順位は九州大学、北海道大学等と並ぶ第8位、私立大学としては産業医科大学に次ぐ第2位となりました(表2参照)。本学はアジアでも74位にランクされており、また、初めてエントリーした2018年以来3年連続で日本の私立大学ではトップクラスと評価されており、これが来年のアジア大学サミット本学開催に繋がっております。

私の驕りかも知れませんが、最近、本学は故藤田啓介先生の夢に近づきつつあるような気がします。本学が主催する「アジア大学サミット2020」を必ずや成功させ、藤田が世界に通用する優れた医療系教育研究機関であることを誇示したいと思います。私たちはこれからも一丸となって研鑽を続け、All Fujitaの精神で前進して参ります。今後ともご支援のほどをお願い申し上げます。

表1 THEアジア大学サミット招聘者(10月5日時点での内定者)

安倍 晋三 氏(内閣総理大臣)
大村 秀章 氏(愛知県知事)
大隅 良典 先生(自然科学研究機構基礎生物研究教授・ 2016年ノーベル生理学・医学賞受賞)
天野 浩 先生(名古屋大学工学研究科教授・2014年ノーベル物理学賞受賞)
Tan Eng Chye先生(シンガポール国立大学学長)
Bin Yang先生(清華大学副学長)
Rocky Tuan先生(香港中文大学学長)
Oh Se-Jung先生(国立ソウル大学学長)
松尾 清一 先生(名古屋大学総長)
古森 重隆 氏(富士フィルムHD代表取締役会長)
内山田 竹志 氏(トヨタ自動車株式会社代表取締役会長)ほか

表2 THE世界大学ランキング2020国内大学順位
()は2020年の世界順位

1位	東京大学(36)
2位	京都大学(65)
3位	東北大学 東京工業大学(251-300)
5位	名古屋大学 大阪大学(301-350)
7位	産業医科大学(351-400)
8位	藤田医科大学 東京医科歯科大学 九州大学 北海道大学 筑波大学 帝京大学(401-500)



藤田医科大学
学長
才藤 栄一

藤田医科大学の近況と 将来展望

この4月、星長清隆現理事長を継いで、藤田医科大学学長に就任いたしました。一言挨拶を申し上げます。

大学開学50周年の昨年、本学は「藤田医科大学」へと校名を変更いたしました。この校名変更は、「独創一理」という建学理念の下、次の50年もスピード感を持って世界の医学・医療をリードしていくという私たちの新たな決意表明です。藤田学園のこのような大きな節目に学長という大任を仰せつかることは身に余る光栄であり、教職員、学生の皆様とさらに発展し続ける藤田医科大学の未来を目指して粉骨砕身尽力する所存です。何卒よろしくお願い致します。

今年4月より教育分野では、JACMEによる国際基準の医学教育評価で日本トップレベルとされた医学部に加えて、より充実した学習環境を創り出しながら専門性を高める医療科学部・保健衛生学部2学部を含む3学部体制に再編しました。この再編に伴い、医療科学部、保健衛生学部のすべての学科で受験者が増加しました。

学びの場となる日本最大級の病床数を誇る大学病院では、ロボット手術、ロボットリハビリなど最先端を日常とする医療を展開しています。また、本年稼働を始めた「国際再生医療センター」は臨床に直結しながら世界をリードする組織になるでしょう。そして、来

年4月には、岡崎市民、幸田町民をはじめとする西三河の方々の大きな期待に応えて、4つ目の大学病院となる400床の「岡崎医療センター」を開設いたします。救急医療、ガン医療を中心に先端とやさしさの医療を展開すべく、万全の準備をしています。

現在、改革の積み重ねによって、Times Higher Educationの権威ある「THE世界大学ランキング」では、世界の大学のなかで上位2.5%に位置づけられるという極めて高い評価を得ています。同様に、周りからの評価も特にこの5年ほどで急速に高まり、海外では藤田ブランドが確立しつつあると感じています。来年6月には日本では初のTHEアジア大学サミットのホスト校として選ばれ、世界や日本の著名人やノーベル賞受賞者とともにアジアから500人を超える大学代表者がここ藤田に集う国際会議を開催予定です。

発展を続ける藤田の素晴らしい勢いをさらに加速させ、充実させること、そして、美しい学園の組織文化を形成することが私の学長としての役割と考えています。大学とは、学生に限らず、教員や職員など全ての個々人が自己実現のために成長し続ける場です。それぞれが自信をもち成長できる、あるいは藤田で働いていて嬉しい、一生ここで頑張りたいと感じる、そういう組織にしたいと思います。

医療は、利他性をその中心に抱えたシステムです。仕事を通して、世の中に役立つと実感できることが大切です。新たなよいことへチャレンジできる土壌と仕掛けを作るべく努力します。

卒業生の皆様の温かいご支援お力添えを賜りますよう宜しくお願い致します。



THE ASIA UNIVERSITIES SUMMIT2018の様子



新大学名称



海外MOU校との首相訪問の様子



THE ASIA UNIVERSITIES SUMMIT2019ポスター



藤田医科大学
看護専門学校
学校長

内藤 健晴
(医学部1回生)

藤田医科大学 看護専門学校 3年後閉校のご報告

同窓会の皆様にはご存じの方もおられると思いますが、私、2019年3月末日をもって藤田医科大学医学部耳鼻咽喉科教授を満期退任し、同年4月より藤田医科大学看護専門学校長を拝命しております。

藤田医科大学看護専門学校は、藤田啓介総長が藤田学園設立の最初の一步となる南愛知准看護学校として1964年に開校し、二度の課程変更を経て、今年で55年目を迎える歴史ある学校ですが、残念ながら3年後(2022年3月31日)に閉校することになりました。つきましては、2020年度からの入学募集は行われません。私も藤田医科大学医学部(旧 名古屋保健衛生大学医学部)の卒業ですので、同窓会の一員として大変に寂しく思っております。しかし一方で、昨今の日本の人口動態および専門学校の社会的役割の趨勢からは致し方ない状況であると判断せざるを得ず、学校法人藤田学園理事会で2019年2月27日にこの方針が決定されました。こうした経緯から、学校長就任早々ですが、閉校に関わる諸業務に携わっております。

この方針に従って現在、私を支えるべく、前田初美副校長、西山都師恵教務課長、吉川英治実習主任を中心とする優秀で情熱ある教員体制で看護教育に専心しております。閉校を控えているとはいえ、我々の使命は、在校生が一人でも多く、病める方々のお役に立てるプロフェッショナルリズムを持った

医療系職業人として医療現場で活躍できるように巣立たせることにあります。

これから閉校に向けて様々な紆余曲折があるかと思いますが、学園のご指導を仰ぎながら真摯に進めてまいりますので、同窓会の皆様には多大のご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



藤田医科大学看護専門学校の校舎全景



藤田医科大学
医療科学部
学部長

齋藤 邦明
(衛生学部衛生技術学科12回生)

医療科学部の近況と 将来展望

学園創立50周年を契機として行われた組織再編を受け、医療科学部は本年4月から医療検査学科と放射線学科の二つの科を主体に運営することとなりました。

医療検査学科の入学生は、共通カリキュラムを学修した後の3年次から、臨床検査技師教育プログラムと臨床工学技士教育プログラムのどちらかを選択できます。これは全国で初めて導入された選択式養成システムです。

また、学園の組織連携・改革の一環として、病院群と大学群が結束して教育と研究を発展させる体制を構築しました。これは、教授を筆頭とした複数の教員がチームを組んで、教育と研究に従事する分野制です。個々人に課される教

育と研究の-effortをしっかりと議論して、教育を中心に活動する教員と、研究に軸足をおく教員を明らかにし、個人の役割を認識してもらう狙いがあります。

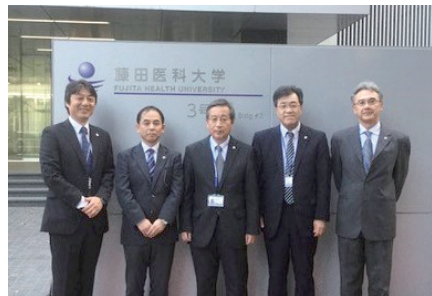
社会のニーズを捉え、時代にあった教育基盤を整備することは重要な課題です。そのため、既に導入済みの客観的臨床能力試験(OSCE)に加え、課題解決型学習(PBL)など、学生の能動性を高めるカリキュラムを進取して取り入れ、未来社会を創る人材の育成を心掛けています。全国でも群を抜く国家試験合格率の維持に加え、学部の高い教育力、研究力をアピールして、社会からの信頼や評価を更に高める努力を続けねばなりません。また、大学院カリキュラムの充実を図る新たな試みとして、今春から博士課程に異なる医療分野の連携を実現するユニットを設置しました。さらに高度専門職の養成コースを設け、例えば臨床コーディネーター、医学物理士、遺伝カウンセラー、胚培養士などの認定資格が取得できるような仕組みもできております。

現状、大学院の受験者数は修士・博士ともに増加しており、入学者数も順調に伸びています。安心して学び、研究できる環境づくりをサポートするために、ティーチングアシスタント制度があります。今年度からは、国家資格を有する大学院入学者が、本人の希望によって週1-2日程度、大学病院で有給の研修を受けることができる制度もできました。大学院在学中に臨床経験を積むことは、医療技術者に求められる知識に厚みが加わります。また、将来の病院管理を担う後継者教育にも繋がるものとして、期待されています。

人工知能により失われる職業があるとされる昨今では、どのような医療職が求められているのかを常に考え、先進的で夢のある教育システムを構築しなければなりません。医療科学部は、そのために日本最大の病床数と最新鋭の医療機器を有する大学病院を併設した医療系総合大学としての強みを充分に生かし、医学部、保健衛生学

部、総合医科学研究所と連携しながら、時代をリードする研究・教育を展開したいと考えております。

『FUJITA AS No.1』を目標とした新たな挑戦を考える医療科学部へ、皆様方のご理解と、より一層のご支援をお願いいたします。



左から市野直浩医療検査学科長、浅野恭生放射線学科長、斎藤、秋山秀彦臨床検査学科長(副学部長)、小林茂樹副学部長



「臨床検査学科」から
「医療検査学科」へ

藤田医科大学
医療科学部
医療検査学科
学科長

市野 直浩

(衛生学部衛生技術学科 14 回生)

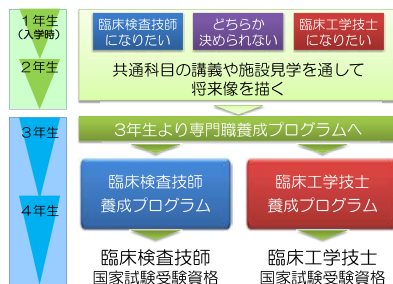
1968年に全国で2番目となる4年制臨床検査技師養成施設として衛生技術学科が開学して以来50年の歴史を積み重ね、本学科は2019年4月に「医療検査学科」として新たなスタートを切りました。

医療検査学科は、これまでの臨床検査学科と臨床工学科を発展的に統合した学科で、日本初となる3年次からの臨床検査技師・臨床工学技士養成プログラム選択制を導入しました。これは、臨床検査技師あるいは臨床工学技士のどちらを目指すかを2年次に選択し、3年次よりそれぞれの養成プログラムに進むという新しい教育システムです。2年次までに自分の適

性や興味を見極めた上で将来を選択することができ、また基礎医学および臨床検査・臨床工学の共通カリキュラムを受講することにより幅広い視野と知識を持った医療人の育成を目指しています。

同窓生の皆様におかれましては、これまでと同様、医療検査学科の教育および運営にご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

専門職養成プログラムが選択可能な学科



藤田医科大学
医療科学部
放射線学科
学科長

浅田 恭生

(衛生学部診療放射線技術学科 1 回生)

医療科学部・ 放射線学科長に就任して

この度、2019年4月1日、医療科学部放射線学科長を拝命いたしました。

前学科長(現医療科学部部長)の齋藤邦明教授が築き上げられた学科運営を精一杯、学生、学科、学園のため教育、研究に尽力できればと思っています。

私は日本で最初の4年制大学としてスタートした放射線学科の1回卒業生でございます。このたび初めて、卒業生が学科を任せられることになり、光栄であるとともに重責を感じております。また、定員を今年度より90名としていることもあり、より一層頑張らな

くてはなりません。18歳人口の減少により大学は生き残りをかけ、変革してきています。時代の流れに乗り遅れることなく本学科がこれまで築き上げた歴史を汚すことなく、ますます進化、発展するため、教員一同頑張る所存です。学園内外のご支援ご鞭撻いただければ幸いです。



藤田医科大学病院
病院長
湯澤 由紀夫

藤田医科大学病院の 近況と将来展望

同窓会の皆様には日頃より藤田医科大学病院に対し、多大なるご支援・ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

今年5月より新元号「令和」のもと、日本が新しい時代へのスタートを切ったところがございますが、私どもも、昨年の開学50周年を機に大学名称と病院名称を変更し、次の50年もスピード感を持って日本の医学・医療をリードするという決意のもと新たなスタートを切りました。

現在の医学・医療にとって、今後さらに活性化と思われる領域として、「ゲノム医療」「人工知能・ビッグデータの活用」「ロボット医療」「再生医療」の4領域があげられます。

当院は昨年、地域がん診療連携拠点病院(高度型)に東海北陸地域で2施設のうちの1施設に指定されました。ゲノム医療につきましては、特にがん領域についてのゲノム医療が急速に進んでおります。がんゲノム医療連携病院の指定に続き、がんゲノム医療拠点病院の指名獲得に向けて準備を開始

いたしました。「ロボット医療」につきましては、特にダヴィンチを用いたロボット支援手術は既に2,600件を超え、消化器外科・泌尿器科・呼吸器外科をはじめ、婦人科・耳鼻科・心臓外科などロボット手術が可能なのはすべての領域に対応できる体制が整ってきました。また、リハビリ領域のロボットを用いた治療も世界的なレベルで行われており、トヨタ自動車と共同開発した歩行練習用ロボットは昨年厚生労働大臣賞を受賞しました。今年4月には国際再生医療センター(CPC)が完成し、がん領域の先進医療への応用に向け準備しております。

いよいよ来年4月には、J R岡崎駅南部に、藤田医科大学岡崎医療センターが開院します。400床急性期総合病院である同センターは、岡崎・幸田地域周辺の急性期医療を担い、24時間365日対応できる救急とがんおよび手術治療を軸にした、質の高い急性期医療を地域に提供していくことを目指しております。

また、藤田医科大学は、世界で最も権威ある大学ランキングを運営するTimes Higher Education (THE)から、来年6月に開催される「THE Asia Universities Summit 2020」の日本初のホスト大学に指名され、学園を挙げて準備を行っ

ております。

今後も患者さんの満足度が最も高く、同時に大学病院として世界水準の質の高い先進的な医療を安全に提供することで、社会に貢献してまいりたいと考えております。

同窓会の皆様におかれましては、何卒引き続きのご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



藤田医科大学
ばんだね病院 病院長
井澤 英夫

「ばんだね病院の未来」への投資

同窓会の皆様には日頃より第二教育病院に多大なご支援、ご指導を賜りまして誠にありがとうございます。心より御礼を申し上げます。

初期臨床研修制度が始まって15年が過ぎました。この間、愛知県では研修医数にキャップ制度が適用され徐々に研修医定員数が

削減されてきました。その結果、各病院間で研修医を奪い合うこととなり6年生にとっては空前の売り手市場が続いています。病院が研修医の確保にきゅうきゅうとなるのは、研修医が救急医療に欠かせない存在であるだけでなく、病院に対してひととき強い愛情を持ったスタッフに将来成長してくれる可能性が高いからでもあります。病院の発展を常に考え、いざという時にはリーダーシップを発揮して病院を一致団結することができる医師を数多く有することが病院の発展には欠かせなくなってきました。ばんだね病院でも病院の未来を担ってくれる優秀かつ熱意のある研修医、特に本学卒業の研修医を毎年数多く確保するために惜しみない努力と投資をしています。

臨床研修センターはばんだね病院の1階に位置して、スペースに余裕がない病院の中では最大限にゆったりしたスペースを確保しています。3年前に新病棟を建設した際に多くの部署がスペースの面で我慢せざるを得ませんでした。その中で臨床研修センターだけは計画通りのスペースを確保して、病院として研修医教育をいかに重要に考えているかを示しました。臨床研修センターには研修医一人一人の机に加えて、シミュレ



藤田医科大学岡崎医療センター完成予想図

ーショントレーニングができるスペースもあります。また、当直室は男女それぞれ1室ずつ計2室をセンター内に設置して研修医が当直時にも快適に過ごせるように配慮してあります。さらに臨床研修センターを担当する事務の方も、当初は総務課の兼務1名でしたが、今は臨床研修センター専属2名に増員しました。そして、この快適な臨床研修センターへ行くためには必ず救急外来を通らないと行けないように配置されているため、研修医は自ずと救急外来で自主研修するチャンスが増えるようになっていきます。当院の初期臨床研修医の定員は現在5名です。幸いにも初期研修医2学年ともにフルマッチしていて10名の研修医が医師としての第一歩を当院から始めています。この原稿を書いている10月1日時点で来年度募集の研修医も定員を上回る応募があり、今年もフルマッチできるものと思います。当院に愛情を持ち、当院の方針である地域貢献の精神が体の芯から身についた多くの優秀な医師が育ってくれるように今後も病院は未来への投資を続けます。

同窓会の皆様には今後も当院へのご指導、ご支援を何卒よろしくお願い申し上げます。



臨床研修センター



藤田医科大学
七栗記念病院 病院長
園田 茂

藤田医科大学 七栗記念病院の近況

近年、地域医療構想が盛んに議論されています。その区分で考えると、藤田医科大学七栗記念病院は回復期にあたる機能に特化した病院です。急性期と慢性期の間に位置するため、急性期系の病院との連携、地域や維持期・慢性期施設とのコミュニケーションを大切にしています。その最近のいくつかをご紹介します。

2017年度から開始した七栗見学ツアー、今年度もさらに盛んに行っています。2019年度は三重大学医学部附属病院など七栗への転院患者さんが多くみえる病院の医療職79名(10月末まで)を当院に迎えました。リハビリ訓練ロボットや嚥下食、緩和ケアの新しい概念ももちろんなのですが、当院教職員の患者さんへの接し方、誰にでも挨拶を欠かさない雰囲気にご納得戴いています。七栗のイメージが変わったかとのアンケートに「変わった」が100%の結果に、見学前にはいったいどんなイメージだったのだろう、とも思案しています。

緩和ケア・外科は2019年4月より教授2名体制に強化され、転院戴く患者層も終末期から術後まで、だいぶ広がってきました。そのぶん急性期病院からの信頼も増してきている印象です。結果的に、4階一般病棟の稼働率が上昇しました。

自身のスキルを磨き、それを示していくことも心がけています。日本医療機能評価機構の病院機能評価は2003年9月の初回受審以

来、更新を続け、直近では2019年8月に認定・交付されました。本体機能評価のみならず、リハビリテーション付加機能(来年度からは高度・専門機能と名称変更されます)、緩和付加機能(機構側が審査終了した2015年まで)を取得し続けています。

2019年9月には、みえ介護技術コンテストに当院介護福祉士が優勝しました。三重県内で活躍する介護職員が介護の仕事の魅力を発信し、介護技術の高さを競うことにより介護の質を向上させることを目的としたイベントです。日頃、入院患者さんに心を込めて接している成果と考えています。

今後とも、ひとつひとつ努力していきたいです。皆様、お力添えの程、お願い申し上げます。



みえ介護技術コンテスト



病院機能評価認定証

恩師からのお便り

(順不同)



藤田医科大学
名誉教授

臼田 信光

本学医学部卒業生
高橋和男君を教授
に迎えて

私は2019年3月に藤田学園を定年退職した。医学部解剖学Ⅱ講座(大学院 細胞生物学)では、細胞生物学 大学院修了者 高橋君(2000年卒)を講座教授として迎えた。自校卒者を指導者と生ずことは、教育機関の *miliarium aureum* である。彼は腎臓内科医で、研究手法は質量分析なので、解剖学教授就任は意外と思われる方も多いと思うが、臼田の経歴からその背景を理解されると思う。新たに大学人生活を歩み始める高橋君を、宜しくお願い申し上げるとともに、私に自由な活動の場を与えて下さった学園の皆様に感謝申し上げます。

私は、40年解剖学を教えてきた。研究では物理分析が好みで、学部生時代から放射線・X線で物質検出を行い、本学ではNMR研究者に協力し位相差電顕開発・電子線分光を行った。研究内容は、学部生時代に腎血流測定、卒後はシロスタゾール開発への参画から始め、学位では腎不全の $\beta 2m$ 代謝を、本学では厚生・文部科研費を得て、先天代謝疾患質量分析診断法・糖尿病性腎症・鍼灸の研究とともに血液浄化装置改良を行った。NEJM雑誌に本学の名前を現すことができ、科研費審査では内科学の審査に携わった。学生時代は手術室に入り浸っていたが、結局は40年間、実験室にずっといた。退職を機会に、現在の原稿を書いている透析病院、知立クリニ

ックで実地臨床の医者を目指す夢を叶えたい。



独立行政法人国立
病院機構
豊橋医療センター
病院長

恵美 宣彦

藤田学園を退職して
わかったこと

今年3月に医学部血液内科学教授職を定年退職いたしました。大学に勤務していた時には気が付きませんでした。外、の病院に出て気がついたことをお伝え出来ればと思います。

現在、豊橋医療センターにありますが、三河の人たちから見ると藤田医科大学はビックネームです。信頼できる医療機関として多くの方に認識されています。どの職種の方もその期待に添えるように振る舞ってもらえればと思います。教育内容、実務経験、施設基準、運営方法などどれを取っても他の施設を超える高いレベルにあると思います。

藤田学園に在籍していた時には当たり前のように思っていたことが、外の施設に出ると意外と考えられています。現在はそのようなことを病院長として一つ一つ当院に合うような形に変えて提案しているところです。藤田医科大学病院

で経験したことは本当に財産だなと感じている今日この頃です。



医療法人大医会
日進おりど病院
整形外科顧問

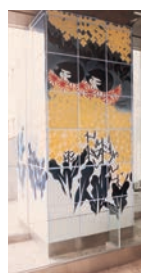
山田 治基

地域医療に貢献

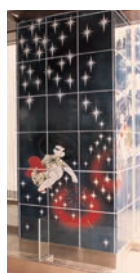
平成31年3月に17年間務めた整形外科学講座教授の職を辞し、藤田学園を退職いたしました。助教授として第二教育病院(現ばんたね病院)に勤務していた時期を含めると21年間、学園に在籍しましたが、その間、多くの先生、スタッフの方のご助力を得て職務を遂行できましたことに対して心から感謝申し上げます。言うまでもなく、私の入職時と比較して医療界における学園の存在感は飛躍的に高まっていますが、そのような躍進の時期に大学病院の臨床系教室の運営に携われたことは一生忘れえない経験と思っております。

現在は教室の関係している日進おりど病院で顧問として勤務しておりますが、藤田学園のOBが10名以上、勤務されており、患者さんのやり取りも頻繁です。また、医学部学生実習も受け入れており、退職後も学園と連携して仕事ができる事には大変、感謝し

旧教育病院玄関の病院定礎の言葉と四季の童



「春」



「夏」



定礎の言葉
北東面



定礎の言葉
南西面



「秋」



「冬」

ております。今後も藤田学園の発展を祈りつつ、地域医療に貢献していきたいと思っておりますので皆様方のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。



元藤田医科大学
医療科学部
臨床工学科教授
北口 暢哉

おもしろうてやがて
素晴らし藤田かな

旭化成から藤田に転職して11年間の在職中は、講義に研究に学科業務に邁進して充実かつ楽しい日々でした。学生(つまり今の卒業生たち)や素晴らしい教職員、医師の方々と交流することで、自分自身も成長できました。折に触れて報告にきてくれたり風の噂が伝えてくれる卒業生の活躍も嬉しい出来事でした。

退職して他大学などの内情に触れるにつれ、藤田学園は本当に素晴らしいとあらためて感じる次第です。学園としてもこの11年間で厳しい時代もありましたが、その復元力、改革力は本当に素晴らしいと思います。また、研究費獲得のための支援、講義方法の改革など時代を先取りする姿勢は藤田ならではのものでしょう。経営陣と、その方針を咀嚼拡大していった教職員の皆様の努力の賜物と感銘を覚えています。

一方、学生に目を転じれば、モチベーションの高さ、目的意識の確かさは著しく、あらためて藤田学園で働かせていただいたことを感謝しています。今、卒論データも踏まえた論文文化作業をまだ続けていますが、卒論生や院生がしっかりとした実験と解析をしてきていたことを再認識した次第です。

最後に、出身研究室のラボでみつけた言葉を紹介いたします(一

部意識)。

「毎日 前日比1%の努力の上
乗せでは1年で40倍の力に、

毎日 前日比1%のサボリでは
1年で10分の1以下の力に低下。

$$(1.00+0.01)^{365}=37.78$$

$$(1.00-0.01)^{365}=0.03$$

皆様のご健康とご発展をお祈り
します。

新教授のご紹介

(順不同)



藤田医科大学
医学部 解剖学Ⅱ講座
教授

高橋 和男
(医学部23回生)

就任のご挨拶

同窓会の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。この度、令和元年5月1日付で医学部解剖学Ⅱ講座教授を拝命いたしました。就任にあたりご尽力を賜りました諸先生方に心より御礼申し上げます。私は平成12年に本学医学部を卒業後、虎の門病院での研修を経て本学腎臓内科学に入局し、大学院医学研究科細胞生物学(解剖学Ⅱ)を終了、学位取得いたしました。その後、アラバマ大学バーミングハム校微生物学教室に博士研究員として4年ほど研究留学し、平成24年からは本学腎臓内科学にて研究・臨床・教育について多くの経験を積ませて頂きました。私はこれまで実臨床につながる研究を心掛けてまいりました。これから臨床医を経験した基礎医学研究者として、学内の基礎医学や臨床医学の先生方と協力し、患者さんに届く研究を目指して精進していきたいと思っております。また、本学卒業生

として、新しきことを知る研究の楽しさ、魅力を学生に伝え、次世代を担う人材の育成に貢献したいと思っております。藤田学園の更なる発展に向けて尽力したいと存じますので、皆様方には今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



藤田医科大学
保健衛生学部 看護学科
教授

楠本 順子
(衛生学部衛生看護学科11回生)

保健衛生学部・
看護学科教授に就任して

2019年4月1日付けにて保健衛生学部看護学科老年看護学教授を拝命いたしました。

1982年4月に救命救急センターへの希望配置が叶い、3年間ICUとCCUに勤務いたしました。その後、脳神経外科病棟に配置換えとなり、30歳になる年に整形外科病棟の看護長に就任後、約26年間、臨床の看護管理を行ってまいりました。卒業する後輩たちを採用する立場にもなりました。4年間の学びを、臨床で伸ばし育てること、少くマイペースでも必ず看護師として、患者さんの傍に寄り添う存在であるように、祈る思いで育成してまいりました。

この度、母校の教員となり、改めて自分の中での教育を振り返った時、救命救急センターで学んだ知識が、還暦を迎えた今でも役に立っていることに気づきました。何故、生きた知識となり得たのかを改めて振り返り、そのような経験を学生たちにも伝えられるよう教授法を模索中です。教育者として、まだまだ未熟者です。皆様のお力添えを賜りますよう、お願い申し上げます。

学生の活躍

(順不同)

第14回日本臨床検査学教育学会の学生優秀賞



医療科学部
臨床検査学科
4年生

大石 奈美

熱処理を利用した新しい
PTAH染色の確立

私は、大学3年次から講義や実習の空き時間や休暇中などに少しずつ研究を進めてきました。その成果を第14回日本臨床検査学教育学会学術大会にて発表し、優秀発表賞を受賞することが出来ました。今回の受賞は日頃から熱心に指導してくださる塩竈先生をはじめ、研究室の大学院生や諸先生方のおかげであり、心から感謝申し上げます。また、いつも温かく見守ってくれる両親にも深く感謝申し上げます。

研究活動では、疑問に感じたことは徹底的に検討することを心掛けました。発表では、分野外の方にも分かりやすい様な言葉の言い回しやスライドの見やすさを工夫しました。今回が初めての学会発表であり非常に緊張しましたが、発表後に多くの方からお褒めの言葉をいただき大変嬉しく、また励みになりました。研究活動から学会発表まですべてが始めての経験で戸惑いもありましたが、貴重な時間を過ごすことが出来ました。この経験を糧に今後も多くのことに挑戦していきたいと思っています。

研究活動を通して最も感じたことは、人との繋がりの大切さです。研究を進めていく中で我々とは違った視点から研究を行う方々に出会い、刺激を受けることによって、

研究がより良いものになりました。また、発表後に声を掛けてくださった方から、今後の研究のヒントを得ることが出来ました。

私は来年度から病院で臨床検査技師として働く予定です。人との繋がりを大切に、リサーチマインドを持つ臨床検査技師として活躍出来るよう努力していきたいと思っています。



大学院
保健学研究科
臨床検査学領域
1年生

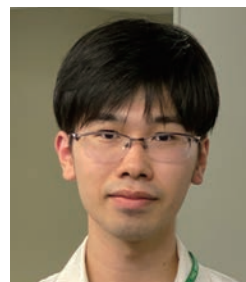
佐野 友亮

B型慢性肝疾患による発
癌に対する肝繊維化評価
法の有用性

この度私は、第14回日本臨床検査学教育学会学術大会において「優秀発表賞」を賜り、このような名誉ある賞を頂き大変光栄に思います。素晴らしい研究環境と直接ご指導をいただきました刑部恵介准教授をはじめ、畑忠善教授、市野直浩教授、藤田医科大学病院超音波センターならびに医学部肝胆膵内科の先生方にこの紙面をお借りして厚く御礼申し上げます。

私の研究は、B型肝炎患者を対象に発癌を予測する因子について、血液検査データに加えて、非侵襲的かつ簡便な超音波検査で計測可能な肝線維化評価法である剪断弾性波伝播速度(Vs値: m/s)の有用性を検討したものです。多くの貴重な症例、高度な医療のもとでこのような研究ができ嬉しく思います。4月に大学院に入学し、研究を始めて早期にこのような賞を頂けたことは、今後の研究の自信にも繋がりました。また、学会を通して、多様な分野の様々な大学の学生による発表を数多く拝聴することができ、良い経験となりました。様々な視点からの考えに触れ、今後の自身の研究の幅も広がったのではないかと思います。また、特に他分野の方々に対しても伝わる発表の仕方や興味を持ってもらえる発表の仕方など、多くの刺激を得ることができました。

このような機会をいただき、貴重な経験ができたことを大変嬉しく思います。



大学院
保健学研究科
臨床検査学領域
2年生

平山 将也

光・電子相関顕微鏡法(CLEM)
を用いた神経細胞質内封入体
の微細構造解析

この度、日本臨床検査学教育学会学術大会にて「光・電子相関顕微鏡法(CLEM)を用いた神経細胞質内封入体の微細構造解析」の演題で発表し、優秀発表賞をいただきました。本学会での受賞は二度目であり、日頃の研究成果を評価いただきましたことを大変嬉しく思います。

私は学部学生の頃、解剖学研究同好会に所属しておりました。この同好会は、臨床検査技師に必要な病理組織標本作製技術の習得および研究活動を行う歴史ある会です。顧問の加藤好光先生(当時)に指導を賜り、学会発表など多くの経験を積ませていただきました。現在は大学院生として指導教員の安倍雅人先生の下で研究活動に勤しむ傍ら、研究支援推進本部 共同設備サポートセンター 生体画像解析室で研究補助員を勤めております。生体画像解析室は顕微鏡標本作製の学内受託研究を行っており、電子顕微鏡二級技師の資格を取得した私は、主に電顕標本作製に従事しております。室長の尾之内高慶先生には、電顕受託業務を行えるように指導いただいた他、研究面でもお力添えをいただいております。

現在私が活動できるのは、教育研究者を志すきっかけを与えてくださった加藤先生をはじめとした多くの先生方、同好会、温かい家族に支えられてきたおかげであり、報恩謝徳の念に堪えません。これからも精進して参りますので、今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます

2019年度 ホームカミングデーを開催して

同窓生の皆様におかれましては、益々ご活躍のことと拝察いたします。

このホームカミングデーは、藤田学園の最初の卒業生として南愛知准看護学校1回生が社会に巣立ってから50年目という節目になることから、2016年度より始まりました。第4回の本年は2019年10月26日に開催いたしました。33名の来賓と300名を超える卒業生とその同伴者が参加し、華やかでそして懐かしい同窓会が繰り広げられました。

今回は南愛知准看護学校3回生と名古屋衛生技術短期大学2回生、そして名古屋医学技術専門学院1回生(3月卒)と2回生(9月卒)が卒後50年を迎え、22名の方が50年の社会貢献を讃える表彰を受けられました。そして40年目の表彰を受けられた専門学院8回生、短大技術科11回生、衛生学部技術学科・看護学科8回生、医学部2回生には55名もの多く

の方に出席していただきました。年々、卒後50年、40年とその功績を称える表彰を受けられる方々が増えていくことは、学園と同窓会の発展と充実を実感でき、大変に喜ばしいことです。

今回からの試みとして、懇親会会場で藤田学園同窓会奨学金基金への一口千円の寄付をお願いいたしました。急なお願いにも拘わらず、多くの方が募金に応じてくださり20万4千円もの金額が寄せられました。在学生への同窓会奨学金として運用させていただきます。

このホームカミングデー開催が、同級生やクラブの先輩・後輩の懇親会の呼び水となることを、そして今まで以上に卒業生が一丸となって在学生と学園を応援できる起点になることを願っております。

藤田学園同窓会 会長 松山裕宇



卒後50年表彰 看護3回生



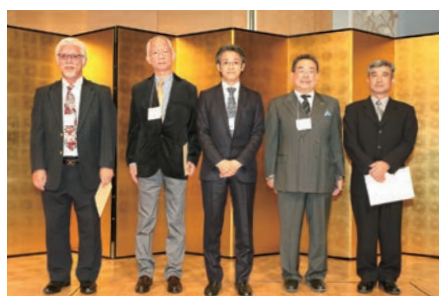
卒後50年表彰 専学1回生



卒後50年表彰 短大2回生



卒後50年表彰 専学2回生



卒後40年表彰 専学11回生、短大11回生、衛生8回生、医学2回生



卒後30年表彰 衛生18回生、医学12回生



歓談と食事の様子



集合写真



奨学基金募金

同窓会を開催して (順不同)

忘れまじ 卒後40年間の「絆と藤田魂」

日時：令和元(2019)年10月26日 場所：ANAクラウンプラザグランコート名古屋 参加者：16名

秋晴れの中、同窓生10名は令和元(2019)年10月26日午後から、藤田学園同窓会主催のホームカミングデー豊明キャンパス見学会に参加した際、大学のあまりの変貌に驚きと40年間の時間の長さを感じさせられました。夕方からのANAクラウンプラザグランコート名古屋での懇親会には、同窓生が更に6名加わり合計16名が参加しました。卒後40年記念と云うことで、学校法人藤田学園・藤田学園同窓会より表彰を受けました。参加者は少数でしたが、各地(鹿児島、神奈川、愛媛、大阪、静岡、山梨等)から参加してくれました。白髪や小皺が目立つ年齢になりましたが、学生時代の面影が残っている様で、顔を見るなり学生時代のニックネームで呼びながら、再会の喜びの歓声を上げていました。懇親会では、学生時代の思い出や子供の話、更には親の介護、孫の世話、腰や肩が痛い等、40年間の時代の流れを感じさせ

る会話で、時間の過ぎるのを感じさせない同窓会でした。また、参加した16名中7名が、七栗生葉研究塾で亡き総長藤田啓介先生に直接、卒論指導を受けたメンバーでした。今も強い「絆」で結ばれ、遠方からも連絡を取り合い、仕事・家庭の都合をつけ、喜んで駆けつけてくれた同窓生に感謝し、「藤田魂」とも云える結束力・団結力、並びに連帯感を感じることが出来ました。二次会にも数人が参加しましたが、名古屋近郊に住んでいる同窓生は、来年も時間が有ったら参加しようかと計画をしていました。10年後の卒後50年には、多くの同級生が集まれるよう、参加者それぞれが連絡の取れる同窓生に今日の出来事も伝え、10年後に集まること

を誓い、解散をしました。

田實敏郎(鹿児島県出水市在住)
名古屋衛生技術短期大学11回生
(1979年卒)



卒後20年目の同窓会

日時：2019年11月3日 場所：中国料理 東天紅 名古屋店 参加者：26名

卒後20年という節目の年を迎え、卒業後、初めての同窓会を開催しました。20年という歳月の経過により、企画当初は連絡先の不明な仲間も多くいました。一人また一人と連絡を取り合う内に、少しずつ情報も展開され、全国各地から26名が集まってくれました。また、当時お世話になった先生方にもご参加いただき、昔を振り返りながら近況報告を行い、懐かしいそして和やかなひと時を過ごすことができました。

20年が経過した現在において私生活はそれぞれに大きく異なりますが、大多数の参加者が、学生時代に学んだことを生かし現在も第一線で働いており、仲間たちが

頑張っている姿に、お互いに、大変励まされました。

この機会を大切に、今後も同級生の繋がりを大切に、再会を期

して散会しました。

衛生学部衛生技術学科28回生有志
(1999年卒)



ホームカミングデーに参加して

日時：2019年10月26日 場所：ANAクラウンプラザグランコート名古屋 参加者：17名

10月26日(土)開催の2019年度ホームカミングデーにおいて、名古屋衛生技術短期大学卒業50年の表彰を賜り、あらためて社会に出てからの50年を思い返しました。私の人生を思い返しても、表彰されるようなことがあったのかとも思いますが、元気に同期の17名にお会いし、20歳前後の当時の面影から一足飛びに50年後の元気な皆様に接することができ、幸せを実感いたしました。ただ、学生時代の恩師に誰ひとりお会いすることができず、どうしようもない時の流れを感じました。学園理事長、同窓会長はじめさまざまな方々のおかげでこの日を迎

えることができましたことに深く感謝申し上げます。

浅野(旧姓外山)妙子
名古屋衛生技術短期大学2回生
(1969年卒)



2018年度 国家試験結果

■ 藤田医科大学 医学部

学 科	資格名	区分	受験者	合格者	合格率%	全国平均
医 学 科	医師 (第113回)	新卒	115名	111名	96.5%	92.4%
		既卒	14名	10名	71.4%	56.8%
		計	129名	121名	93.8%	89.0%

■ 藤田医科大学 医療科学部

学 科	資格名	受験者	合格者	合格率%	全国平均
臨 床 検 査 学 科	臨床検査技師 (第65回)	104名	103名	99.0%	75.2%
看 護 学 科	看護師 (第108回)	103名	103名	100%	89.3%
	保健師 (第105回)	15名	15名	100%	81.8%
放 射 線 学 科	診療放射線技師 (第71回)	51名	49名	96.1%	79.2%
リハビリテーション学科 理 学 療 法 専 攻	理学療法士 (第54回)	60名	60名	100%	85.8%
リハビリテーション学科 作 業 療 法 専 攻	作業療法士 (第54回)	52名	52名	100%	71.3%
臨 床 工 学 科	臨床工学技士 (第32回)	58名	58名	100%	77.5%
医療経営情報学科	診療情報管理士 認定資格 (第12回)	34名	33名	97.1%	52.4%

(注)医療科学部の受験者数は、既卒者を含みません。

(注2)診療情報管理士認定試験のデータは、3年次の実績です。

■ 藤田医科大学看護専門学校

学 科	資格名	受験者	合格者	合格率%	全国平均
看 護 科	看護師 (第108回)	35名	35名	100%	89.3%

(注)看護専門学校の受験者数は、既卒者を含みません。

FUJITA FESTIVAL 2019

～カラフル～



FUJITA FESTIVAL 2019
学園祭実行委員長
医療科学部医療経営情報学科3年
千賀 七海

学園祭を終えて

2019年度藤田学園学園祭実行委員長を務めさせていただきました、医療科学部医療経営情報学科3年の千賀七海です。今年の学園祭テーマの「カラフル」には十人十色のように1人1人がそれぞれ自分の色をだして学園祭を楽しいカラフルなものにしたいという願いが込められています。自分らしく悔いの残らないよう、普段は違う建物で生活し、学科・学年がバ

ラバラなメンバーが講義後に集まり各企画について会議を重ねてきました。“学園祭を成功させる”という1つの目標に向かい協力し合うという貴重な機会を得られたことは学生である私たちにとって大切な糧となりその素晴らしさを再認識いたしました。台風21号を心配してハラハラして過ごした日もありましたが学園祭2日間とも天候に恵まれ無事に終えることができました。

最後にこの学園祭開催に際し力を貸して下さった全ての方にこの場を借りて厚く御礼申し上げます。ありがとうございました。



同窓会・各部会お知らせ

看護専門学校同窓会活動報告とお知らせ

看護専門学校部会では、藤田学園同窓会を全面的にバックアップしております。主な活動内容は次の通りです。

新卒業者、既卒者及び学生名簿の管理を藤田学園同窓会名簿委員会と協力して行っております。(住所変更、勤務先変更の際は是非お知らせください。)また、藤田学園同窓会奨学金への資金援助や新卒業者への卒業記念品贈呈(ナースウォッチ)、教育教材寄贈などです。さらに、看護専門学校でのホームカミングディへの協賛をしています。今年は、11月16日(土)に学食にて行われ、50名の卒業生とその家族が約30名参加され、軽食での歓談やマジックショー、ゲームなどを通して、楽しいひと時を過ごしていただきました。

2019年4月20日(土)に看護専門学校同窓会総会を開催いたしました。次年度の総会は、2020年4月25日(土)13時から、フジタホール2000の学生食堂にて開催予定です。同窓生の参加をお待ちしています。

三年課程では、2019年3月に第17回生35名が卒業(看護専門学校累積数3,375名)し、ほとんどが藤田学園関連の病院で勤務しています。4月には、第20回の新入生を迎えました。

藤田学園の発祥である看護専門学校は、今年度入学の第20生が最後の入学生となります。50年余藤田学園関連病院の看護職員を輩出してきましたが、その役割は、2022年3月をもって終了いたします。看護専門学校の閉校に関連する事業につきましては、同窓会としてできるかぎりの支援をさせていただきたいと考えております。

同窓生からのお問い合わせ先等につきましては、今後のあけぼの杉等でお知らせしていく予定です。

卒業生の動向についても同窓生にお知らせしたいと思っております。同窓会等を行われた際には、是非お知らせください。あけぼの杉に掲載したいと思っております。

連絡先：藤田医科大学看護専門学校同窓会事務局
(電話番号 0562-93-2593、FAX 0562-93-9394)

短期大学部会

藤田保健衛生大学短期大学同窓会では、10月5日(土)17時から名古屋市内において、総会及び懇親会を開催しました。

総会では、2018年度活動・会計・監査報告と2019年度の活動案・予算案、役員案、およびその他の事項について審議、承認、話し合いが行われました。会の開催に際しましては藤田学園同窓会からも部会活動としてのご支援を賜りましたのでここにお礼を申し上げます。

本年度は新たに若い卒業生も顔を出して下さり親睦を深めることができました。会長からは「母校である短期大学が4年制の医療科学部へと発展的統合の形で閉校をしてから既に10年目の歳月を迎えています。またその医療科学部も今年からより専門性を持った2学部(医療科学部・保健衛生学部)へと改組発展されました。本同窓会も母校の発展や後輩への支援のための活動をしています。古い卒業生からは短期大学独自の母校への愛着の声にも強いものがあります。役員会としてはこうした卒業生からの問い合わせや希望等にも対応し、できる限り会員の親睦、情報交換の場としての活動もしていきたいと考えています。また役員の世代交代も進みました」との挨拶がありました。

同窓生の皆様には、今後とも、短期大学同窓会を明るく楽しい場にしていきたいと思っておりますので、引き続きご支援、ご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

(短期大学同窓会会長 寺平良治)

専学部会

専学部会において同窓会役員を推薦いたしました。

役員は各学校・学部との会員相互の交流と同窓会の発展に寄与されます。(承認は総会にて決議)

代議員

引地陸悦(3回生) 森田秀夫(12回生)

井出富彦(19回生) 山田 晃(24回生)

理事

小久保正博(10回生) 古川 博(14回生)

令和元年は専門学院卒業50周年の節目になりました。

ホームカミングデーにて第1回生(春卒)、2回生(秋卒)の皆様の長年にわたる社会貢献に祝福されました。

詳細は藤田学園同窓会ホームページにてご確認ください。

(専学同窓会会長小久保正博)

医療科学部部会(藤衛会)

一般社団法人 藤衛会は、2019年4月現在、臨床検査学科5,509人、放射線学科1,426人、臨床工学科360人、医療経営情報学科295人、看護学科2,649人、リハビリテーション学科理学療法専攻636人、同学科作業療法専攻502人の卒業生と、大学院保健学研究科修士課程488名、さらに2015年に開学した博士後期課程8名の修了者を合わせて11,873名から構成されています。藤田保健衛生大学は2018年10月10日から「藤田医科大学」に校名が変更され、2019年4月より、医療科学部に加えて新たに「保健衛生学部」が開設されました。これにより、2019年4月入学生から医療科学部は医療検査学科(臨床検査技師養成プログラムと臨床工学技士養成プログラム)と放射線学科に、保健衛生学部は看護学科とリハビリテーション学科理学療法専攻、同学科作業療法専攻として2学部4学科でスタートしています。

藤衛会では、卒業式の卒業記念品(印鑑)、各学科卒業生の周年記念同窓会支援、支部設立の支援、本学関連の学会支援要請に対する補助金援助、同窓生による学術講演会の支援、在学生及び留学生の国際交流支援等を行っております。本年度は、2020年に藤田医科大学で開催される「THE Asia Universities Summit 2020」に対する支援として、学校法人藤田学園に600万円を寄附いたしました。さらに、大学11号館(放射線学科棟)1階にAED 1台も現物寄附いたしました。

なお、藤衛会の詳細な活動につきましてはホームページでご確認ください(<http://www.fujita-hu.ac.jp/~dousou68/index.html>)。

今後も、「一般社団法人 藤衛会」の発展に尽力いたす所存です。同窓生の皆様方のご協力、ご支援を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。(藤衛会会長 瀧子二治)

医学部部会(藤医会)

平成31年4月から藤医会第6代会長の3期目を拝命して、大学病院の特命教授を続けながら、同窓会活動に関わっております。藤田学園に入学して以来この学園のありのままを48年間にわたり直視してきましたので、様々な経緯は熟知しております。この経験を生かして、医学部の50周年を藤田啓介先生が建学をされたときに、理想とされていた医学部に成熟させるべく全力で活動をさせていただいております。副会長を根木浩路先生(6回生)大槻眞嗣先生(11回生)、篠崎仁史先生(16回生)に留任していただきバランスの良い藤医会活動ができております。私も同窓会活動の円滑な実施に大局的に取り組めるようになりました。藤田学園同窓会の皆様におかれましては、藤医会の活動にご理解を

賜れますようくれぐれも宜しくお願い申し上げます。藤医会の活動としましては、年2回の会報の発行、2年に1回の会員名簿の発行、年1回の総会、卒業生の教授就任記念講演会・祝賀会の開催、および各支部の支部会訪問を行っております。詳細はホームページをご覧くださいましたら幸甚に存じ上げます。(藤医会会長 黒田 誠)

3. 支部設立支援、支部総会・懇親会支援
4. 県人会開催の支援
5. 学会、学術集会、研修会、研究会の支援
6. 会員の研究補助
7. 県人会、クラス会など開催のための名簿と宛名シールの提供

カズモス部会

カズモス同窓会(藤田コンピュータ専門学校同窓会)は、藤田学園同窓会の一員として、会員の親睦と藤田学園の発展に寄与することを目的とした藤田学園同窓会を支援、協力しております。

同窓会では、一昨年2018年には、カズモス閉校20周年記念同窓会パーティを行いました。来年も下記のように総会・親睦会を予定しております。恩師の先生方も交えて、同窓生の親睦を深め、今後の同窓生各位の活躍の糧としたと思います。

同窓生並びに現及び元教職員の先生方々、是非とも参加をお願い致します。

1. 平成31年度カズモス同窓会総会並びに親睦会
1. 日時：令和2年2月29日(土曜日)18時～
1. 場所：「マンガ」

〒460-0022 名古屋市中区金山1丁目16-14
Tel: 052-321-3715

出席の申込：Email: nursing-net@onyx.ocn.ne.jp

カズモス同窓会では、同窓会名簿における名前、住所等の変更を受け付けています。変更者は、上記メールまでご連絡下さい。また同窓会に関するご意見ご要望については、理事並びに代議員までお知らせ下さい。

(カズモス同窓会会長 兼田道男)

「'23名簿 藤田学園同窓会誌」の発行を予定

2019年3月で大学院を含む同窓会員数は延べ31,262名になりました。一方で、住所不明者数の合計は5,428名で、全会員数の17.4%です。物故者は354名です。これまでに名簿をご購入いただいた会員の皆様、賛助金をいただいた会員の皆様、広告を掲載していただいた会員の皆様と業者の皆様、心より御礼申し上げます。同窓会では5年毎に名簿を発行いたします。次回は2023年9月に「'23名簿 藤田学園同窓会誌」の発刊を予定しています。

会員の皆様の住所変更は同窓会のホームページから登録することができます。会員の皆様の継続した動向調査・不明者追跡調査への協力をお願いします。皆様からご登録いただいた個人情報、藤田学園同窓会個人情報保護方針に則り厳重に管理いたします。特に登録いただいた電話番号、メールアドレスなどについては外部へ出することは一切ありません。

会員名簿は会員の皆様と母校を結ぶ「絆」であり、同窓会の大切な財産であります。皆様のお力でより大きく成長させていただきたく存じます。

会員サービス

藤田学園同窓会では、アセンブリ精神に則り様々な会員サービスを行っております。会員の皆様の、学部・学校、学年を超えたネットワーク造りを推進しています。同窓会事務局へお問い合わせください。

主な支援事業

1. 2020年度藤田学園ホームカミングデーの開催(2020年10月24日予定)
2. 学会などにおける親睦会支援

県人会を開催しませんか!

全国の職場では、たくさんの藤田学園同窓生が活躍のことと存じます。ところが同じ職場でも年齢が離れ、さらに職種が異なると、なかなか藤田学園同窓生として知り合う機会は意外に少ないのではないのでしょうか。

そこで、同窓会からの提案です。皆様の都道府県単位或いは地方単位で、県人会・地方会を開催しませんか? 県人会或いは地方会活動を通じて、世代と職場・職種の垣根を越えた親睦を深めることができれば、お互いの情報交換のみならず、母校の旧知を訪ね、新しきを知る上で、大いに役立つのではないのでしょうか。先ずは同じ職場から、同じ職種から繋がりを広げては如何でしょうか? 同窓会事務局へお問い合わせ下さい。

2020年度 藤田学園ホームカミングデーの開催!

ホームカミングデーとは、藤田学園と同窓会が卒業生の皆様に母校にお招きし、懐かしい母校の見学、恩師・学友との再会、学部・学校・学年を超えた交流の輪を拡げていただくための企画です。また、卒後10年、20年、30年、40年、50年目の卒業生には「永年社会貢献」表彰を行います。

2020年も「2020年度 藤田学園ホームカミングデー」を下記のように開催いたします。卒業生は、何方でも参加できます。この機会にクラス会あるいはクラブ会を企画しませんか?

参加は無料です。同級生でお誘い合わせの上、同窓会ホームページよりお申し込み下さい。ご家族同伴での参加も「OK」です。

記

日 時：2020年10月24日(土)18:00～20:00

場 所：ANAクラウンプラザホテルグランコート名古屋

参加費：無料

同窓会奨学金基金への寄付のお礼

2019年度ホームカミングデーの懇親会会場で同窓会奨学金基金への一口千円の寄付をお願いしたところ、多数の方々にご協力いただき、20万4千円もの大金が寄せられました。また、衛生学部衛生技術学科28回生の皆さまからは1万5千円の篤志が寄せられました。皆様のご厚情に感謝し、同窓会奨学金として大切に運用させていただきます。

同窓会へのお問い合わせ

〒470-1192

愛知県豊明市杣掛町田楽ヶ窪1番地98

藤田学園同窓会事務局

電話・ファックス：0562-93-5674

e-mail: dosokai@fujita-hu.ac.jp

http://www.fujita-hu.ac.jp/dosokai/

開局：月～木、10:00～17:00

第40回 一般社団法人藤田学園同窓会 総会議事録

日 時：2019年11月9日(土)14:00～15:10

場 所：藤田医科大学3号館2F221 講義室

代議員：42名(内委任状12名)／57名

理 事：15名／21名

監 事：1名／3名、事務局長：1名

開会に先立ち、志半ばにして逝去された同窓生と藤田学園教職員に対し黙祷が捧げられた。

I. 開会の辞

II. 会長挨拶

III. 議長選出

定款19条に則り、10月15日に開催された理事会の承認により副会長の小島氏が議長に選任された。

IV. 代議員紹介

各部会から選出された2019年度～2022年度代議員が紹介された。(別掲)

V. 議事

1. 2018年度事業報告

2018年度において以下の事業が行われたことが報告された。

1) 会員相互の親睦や扶助に関する事業

- (1) 2018年度藤田学園ホームカミングデーの開催、卒後周年記念者表彰
- (2) 2019年度藤田学園ホームカミングデーの企画・準備(10月26日18:00～20:00開催)

2) 部会・支部活動支援等に関する事業

- (1) 支部設立支援に関する事業は該当なし
- (2) 部会支援として、短大部会の総会及び懇親会を支援

3) 会員の教育と資質向上に関する事業

- (1) 7th asia single port vats symposium (2019.5.24-25開催)
- (2) 第60回日本臨床ウイルス学会(2019.5.25-26開催)
- (3) 第37回日本脳腫瘍病理学会(2019.5.31-6.1開催)
- (4) 第20回日本リハビリテーション連携科学学会(2019.3.16-17開催)
- (5) 第13回国際リハビリテーション医学会世界会議(2019.6.9-16開催)
- (6) 第23回日本ラテックスアレルギーセミナー(2019.3.17開催)
- (7) 第28回国際喘息学会日本・北アジア部会(2019.9.6-7開催)
- (8) 第50回日本職業・環境アレルギー学会総会・学術大会(2019.7.14-15開催)

4) 学生会員育成に関する事業

藤田学園同窓会奨学金基金充実費として200万円を積み立て

5) 会員の就職活動支援に関する事業

藤田学園キャリア支援課と連携(あけぼの杉へのチラシ同封)

6) 機関紙、会員名簿及び動向調査に関する事業

- (1) 「第38号あけぼの杉」の発刊、「第39号あけぼの杉」の編集
- (2) 大学院を除く会員数：29,060名、住所不明者：5,428名、物故者：354名

7) 学校法人藤田学園の後援に関する事業

- (1) 学生会員へのお祝いとして入学記念品及び卒業記念品の贈呈
- (2) 学園祭協賛及び補助金
- (3) 学生環境プロジェクト支援(病院への自動演奏グランドピアノ寄贈)
- (4) THE Asia Universities Summit 2020への寄附

8) その他の事業

- (1) 獨創一理基金充実費として500万円を積み立て
- (2) 会議の開催(総会1回、理事会7回開催)

(3) 愛知県私立大学同窓会連合会加盟、総会・懇親会出席)

(4) 同窓会事務の運営・管理

9) 奨学金基金事業

- (1) 一般会計より200万円を積み立て、基金の充実
- (2) 卒業生12名より奨学金返還、内2名が完済
- (3) 3名の奨学生を採用、奨学金貸与

10) 獨創一理基金事業

- (1) 一般会計より500万円を積み立て、基金の充実
- (2) 卒業アルバムを購入
- (3) 七栗総長祈念室設営のための消耗品の購入、七栗校地庭園環境整備
- (4) 総長由来の大日如来宝冠及び華鬘の獨創一理祈念館への移設・魂入れ法要の実施

2. 2018年度決算報告

2018年度藤田学園同窓会収支計算書、藤田学園同窓会奨学金基金収支計算書、獨創一理基金収支計算書について決算報告が行われた。(別掲)

3. 2018年度監査報告

2018年度 藤田学園同窓会収支計算書及び財産目録、2018年度藤田学園同窓会奨学金基金収支計算書及び財産目録、2018年度獨創一理基金収支計算書及び財産目録について監査報告が行われた。(別掲)

採決の結果、以上の2018年度の事業および決算が満場一致で承認された。

4. 奨学金貸与規程の改定について(別掲)

- 1) 貸与条件について
- 2) 会員育成委員会について
- 3) 返還の免除について
- 4) この規程は令和元年(2019年)11月9日から改定する

改定案について採決の結果、奨学金貸与規程が満場一致で承認された。

5. 2019年度事業計画案

以下のように事業計画が提案された。

1) 会員相互の親睦や扶助に関する事業

- (1) 2019年度ホームカミングデーの開催(2019年10月26日(土)18:00～)
- (2) 2020年度ホームカミングデーの企画(2020年10月24日(土)を予定)
- (3) 学会などにおける親睦会支援
- (4) 中日新聞社会事業団を通して激甚災害支援事業

2) 部会・支部活動支援等に関する事業

- (1) 支部設立支援、支部総会・親睦会支援
- (2) 同窓会部会の支援
- (3) 県人会開催の支援

3) 会員の教育と資質向上に関する事業

学会、学術集会、研修会、研究会の支援、会員の研究補助

4) 学生会員育成に関する事業

藤田学園同窓会奨学金基金募金の実施

5) 会員の就職活動支援に関する事業

キャリア支援課と協力し、会員の就職活動支援

6) 機関誌、会員名簿及び動向調査に関する事業

- (1) 機関誌「第39号あけぼの杉」発行、「第40号あけぼの杉」発行準備
- (2) 名簿管理メンテナンス

7) 学校法人藤田学園の後援に関する事業

- (1) 教育の支援として、学生の学会参加支援、入学記念品、卒業記念品の贈呈、いこいの広場コンサート支援、学園祭の協賛・補助、学生環境改善プロジェクト支援

(2) THE Asia Universities Summit 2020への寄附

8) その他の事業

- (1) 会議の開催(総会、理事会の開催)
- (2) 愛知県私立大学同窓会連合会会員校として活動
- (3) 個人情報漏洩対応損害賠償保険継続
- (4) 同窓会館維持運営
- (5) ホームページ管理、同窓会事務の運営・管理

9) 奨学金基金事業

基金の充実、奨学金貸与・返還

10) 獨創一理基金事業

- (1) 卒業アルバムを購入
- (2) 獨創一理祈念館、祈念室の運営・維持、七栗校地環境整備
- (3) 総長由来の大日如来宝冠と華鬘の移設費の支払い
- (4) 種々モニュメントなどの保存・展示

6. 2019年度予算案

事業計画案および予算案の説明・提案の後に、採決の結果、2019年度の事業計画及び予算が満場一致で承認された。(別掲)

7. 理事、理事会役員及び監事の改選について(別掲)

2018年度第6回理事会において決議された理事と役員・担当委員会委員および監事案が提案され、採決の結果、満場一致で承認された。また、事務局長の人選についても承認された。

8. 質疑応答

1) 2019年度事業計画および予算にTHE Asia Universities Summit 2020への寄附が予定されているが、2020年度以降も寄附の継続の可能性が質問された。

THE Asia Universities Summit 2020は2020年6月に開催・終了することから、以降の寄附はないことが回答された。

2) 2019年度ホームカミングデーにおいて、卒後10年と20年の卒業生に対し表彰が行われなかったが、来年度は表彰して欲しいとの要望がなされた。

若い卒業生の同窓会への参加を促すためにも、表彰を再検討することが回答された。

VI. 議長解任

VII. 閉会の辞

令和元年台風19号災害義援金

2019年10月12日から13日にかけて襲来した台風19号は、全国各地に大変な被害をもたらしました。被災された同窓会会員の皆様には衷心よりお見舞い申し上げます。

藤田学園同窓会と藤医会そして藤衛会は、11月15日に中日新聞社会事業団を通じて全国の被災地・被災者に義援金を届けました。間接的ではありますが、被災された同窓会会員の皆様のお役に立てれば幸いです。一日も早い復興を祈念いたします。

一般社団法人 藤田学園同窓会 奨学金貸与規程

(趣 旨)

第1条 藤田学園同窓会は設立10周年に当たり、藤田学園学生を対象とする藤田学園同窓会奨学金制度を設ける。

(目 的)

第2条 本制度は藤田学園学生のうち、志操穏健、品行方正、向学心旺盛にして経済的理由により修学困難な者に対し、学費の一部を奨学金として貸与して学業の継続を援助することを目的とする。

(貸与条件)

第3条 家庭の事情等により、学費の納入が著しく困難となり、学業を続けることが不可能な状況に立ち至っていること。

2 経済的事情等により、学業成績に悪影響を及ぼしていること。

3 人物・学業成績等が優れていること。

4 公的奨学金制度への申請を優先する。ただし、理事会が緊急性があると認めた場合はこの限りではない。

(奨学生)

第4条 本制度による奨学金の貸与を受ける者を奨学生といい、奨学生は原則として満6ヶ月以上在学し、同窓会費を納入した学生で、第3条に該当する者とする。

2 採用基準は、日本学生支援機構奨学金第二種の学力基準及び家計基準に準ずる。

(基 金)

第5条 本制度の会計は藤田学園同窓会奨学金基金と、この制度に対する篤志の寄付金などをもって充てる。

(会員育成委員会)

第6条 奨学金の適正運用と奨学生の選考を行うため、会員育成委員会（以下「委員会」という）を設ける。

2 委員会は必要に応じ委員長が召集し、委員長が議長となる。

3 委員長は選考結果を理事会に報告し、理事会で奨学生採用を決定する。

(事務局)

第7条 本制度の運営事務は藤田学園同窓会事務局が行う。

(提出書類)

第8条 奨学金を希望する者は、下記の書類を所定の期日までに会長宛に提出しなければならない。

1. 奨学生願書

2. 人物考査及び推薦書（学部長または校長）

3. 生計を一にする者で所得を有する者の所得証明書等（市町村長発行のもの）

(提出期間)

第9条 前条の提出書類を提出する期日は、毎年10月1日より、同月10日までに提出するものとする。ただし、会員育成委員長が緊急性があると認めた場合はこの限りではない。

(貸与金額・貸与期間)

第10条 貸与金額の上限は1ヶ月あたり6万円とする。ただし、理事会が認めた場合その限りではない。1ヶ年を越えて引続き貸与を希望する者は改めて申請しなければならない。なお、最終学年に限り卒業までの期間とする。

(借用書等)

第11条 前条により、奨学金貸与の決定を受けた者は、所定の借用書・誓約書を保証人連署のうえ、事務局に提出しなければならない。

2 連帯保証人は2名とし、第一保証人は原則として保護者とする。第二保証人は第一保証人と生計を異にする者とする。

(貸与取消し等)

第12条 奨学生が次の場合に該当すると認められたときは、貸与を取消し、貸与された奨学金を返還しなければならない。

1. 傷病に起因し、学業を継続することができないとき。

2. 学業成績または素行が思わしくないとき。

3. 虚偽の申し立てまたは不正の方法により貸与を受けたとき。

4. 奨学生が退学するとき。

5. その他、奨学生として適切でないとき。

(奨学金の返還)

第13条 奨学生は、貸与期間の満期日に属する月の翌月に所定の返還明細書を提出して、それにより返還す

るものとする。ただし、奨学金には利息はつけない。

- 2 返還期限は、卒業後10年以内とする。ただし、理事会が認めた場合その限りではない。
- 3 返還明細書の変更を希望するときは、連帯保証人連署のうえ、事務局に再提出しなければならない。
- 4 奨学生及び連帯保証人は、身分上及び住所の変更があった場合は、7日以内に事務局に届け出なければならない。

(返還の免除)

第14条 次の場合、願出により返還未済額の全部又は一部の返還を免除することができる。

1. 本人が死亡し返還ができなくなったとき。（奨学金返還免除願、本人死亡の事実を記載した戸籍抄本、個人事項証明書又は住民票等の公的証明書）
2. 精神若しくは身体の障害により労働能力を喪失、又は労働能力に高度の制限を有し、返還ができなくなったとき。（奨学金返還免除願、返還することができなくなった事情を証明する書類、医師の診断書）
3. 災害その他やむを得ない事由で返還が著しく困難であると認められるとき。（奨学金返還免除願、返還することができなくなった事情を証明する公的証明書）

(規程の制定・変更)

第15条 この規程の制定・変更は、総会で承認を受けなければならない。

附 則

1. この規程は平成2年（1990年）10月10日から施行する。
2. この規程は平成23年（2011年）10月22日から改定する。
3. 平成2年（1990年）10月10日施行の奨学金貸与規程施行細則は平成23年（2011年）10月22日を以て廃止する。
4. この規程は平成27年（2015年）10月17日から改定する。
5. この規程は平成29年（2017年）10月28日から改定する。
6. この規程は令和元年（2019年）11月9日から改定する。

2020年度 入学試験スケジュール

藤田医科大学 大学院

研究科名称	課程	試験区分	募集人員	出願期間(※切必着)	試験日	合格発表日	試験会場
医学研究科	博士課程	第一次募集	52名	9月17日(火)から 9月27日(金)まで	10月 8日(火)	11月 1日(金)	本学
		第二次募集		1月20日(月)から 1月31日(金)まで	2月 6日(木)	3月 6日(金)	本学
	修士課程	入学試験	5名	11月22日(金)から 12月 5日(木)まで	12月17日(火)	1月17日(金)	本学
保健学研究科	博士後期課程	第一次募集	8名	8月13日(火)から 8月26日(月)まで	9月 2日(月)	9月 6日(金)	本学
		第二次募集		1月27日(月)から 2月10日(月)まで	2月17日(月)	2月21日(金)	本学
	修士課程	第一次募集	50名	8月13日(火)から 8月26日(月)まで	9月 2日(月)	9月 6日(金)	本学
		第二次募集		1月27日(月)から 2月10日(月)まで	2月17日(月)	2月21日(金)	本学

藤田医科大学 医学部

学科名称(定員)	試験区分		募集人員	出願期間(消印有効)	試験日	合格発表日	試験会場
医学科 (120名)	ふじた未来入試		高3枠と 高卒枠 合わせて 15名	9月 2日(月)から 11月 1日(金)まで	一次: 11月10日(日)	11月13日(水)	本学
					二次: 11月17日(日)	11月22日(金)	本学
	一般入試	前期	一般枠: 75名 地域枠: 5名	12月 2日(月)から 1月16日(木)まで	一次: 1月23日(木)	1月28日(火)	東京・名古屋・大阪
					二次: 1月31日(金) または 2月 1日(土)	2月 5日(水)	本学
		後期	一般枠: 5名 地域枠: 5名	1月27日(月)から 2月25日(火)まで	一次: 3月 3日(火)	3月 9日(月)	東京・名古屋
					二次: 3月14日(土)	3月16日(月)	本学
	センター試験 利用入試	前期	10名	12月 9日(月)から 1月17日(金)まで	一次: センター試験	2月 7日(金)	本学
		後期	5名	1月27日(月)から 2月28日(金)まで	一次: センター試験	3月 9日(月)	

藤田医科大学 医療科学部・保健衛生学部

募集人員

学 部	学 科	定 員	募集人員						
			推薦入試	アセンブリ入試 (AO入試)	一般入試		センター試験利用入試		センター プラス入試
					前 期	後 期	前 期	後 期	
医療科学部	医療検査学科	140名	30名	5名	70名	10名	15名	5名	5名
	放射線学科	90名	20名	3名	35名	10名	7名	7名	8名
保健衛生学部	看護学科	135名	30名※1	3名	74名	10名	10名	3名	5名
	リハビリテーション学科 理学療法専攻	70名	15名※2	3名	33名	5名	8名	3名	3名
	リハビリテーション学科 作業療法専攻	45名	6名	3名	24名	3名	5名	2名	2名

※1 一般公募制推薦、専門高校(看護)推薦、社会人自己推薦若干名及び指定校推薦若干名を合わせた人数

※2 一般公募制推薦、指定校推薦を合わせた人数

入試日程

試験区分	出願期間(※切必着)	試験日	合格発表日	試験会場
推薦入試	11月 1日(金)から 11月11日(月)まで	11月16日(土)	11月22日(金)	本学
アセンブリ入試 (AO入試・二段階選抜方式)	11月13日(水)から 12月 2日(月)まで	第一次試験 12月 7日(土)	12月13日(金)※3	本学
		第二次試験 12月22日(日)	12月25日(水)	
一般前期入試	1月 4日(土)から 1月22日(水)まで	1月29日(水)	2月 6日(木)	本学(放射線・リハビリ) 名古屋(医療検査・看護) 金沢・浜松・四日市・大阪・福岡(全学科)
センタープラス入試	1月 4日(土)から 1月25日(土)まで	一般前期入試: 1月29日(水) センター試験: 1月18日(土) 1月19日(日)	2月13日(木)	本学
センター試験利用前期入試	1月 4日(土)から 1月25日(土)まで	センター試験 1月18日(土)・19日(日)	2月13日(木)	
センター試験利用後期入試	2月20日(木)から 3月 6日(金)まで		3月13日(金)	
一般後期入試	2月 3日(月)から 2月19日(水)まで	2月26日(水)	3月 4日(水)	本学

※3 第一次試験結果発表日

お問い合わせ先

藤田医科大学 広報部 〒470-1192 愛知県豊明市沓掛町田楽ヶ窪 1 番地 98
TEL 0562-93-2490 FAX 0562-93-4597 URL <https://www.fujita-hu.ac.jp/>